

第3学年

令和元年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸指圧科

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	臨床医学各論Ⅱ	曜日・時間	火曜日・3時限

【授業概要・目標】

施術者として必要な現代医学の立場からみた系統別疾患の診断及び治療に関する基礎的知識について教授し、これを施術に応用する能力と態度を修得させる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	整形外科的治療法	1	婦人科疾患
2	骨代謝疾患と骨腫瘍	2	婦人科疾患
3	筋・腱の疾患	3	眼科・耳鼻科疾患
4	形態異常について	4	精神科疾患・心療内科
5	脊椎疾患について	5	練習問題Ⅰ
6	脳血管疾患	6	練習問題Ⅱ
7	感染性疾患・脊髄疾患	7	練習問題Ⅲ
8	基底核変性疾患	8	練習問題Ⅳ
9	痴呆（認知症）疾患	9	練習問題Ⅴ
10	筋疾患	10	練習問題Ⅵ
11	運動ニューロン・末梢神経疾患	11	練習問題Ⅶ
12	リウマチ・膠原病疾患	12	練習問題Ⅷ
13	小児疾患	13	練習問題Ⅸ
14	一般外科・麻酔科	14	練習問題Ⅹ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による、その他：出席状況、授業態度なども考慮する。
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある。
注意（学生に望むこと）	解剖学や生理学の学習内容がベースになるので復習しておくこと。
使用テキスト・参考書	臨床医学各論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	リハビリテーション医学	曜日・時間	木曜日・2時限

【授業概要・目標】

国家試験合格および臨床の現場で最低限な必要な、リハビリテーション医学の基礎知識を習得する

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	リハビリテーションを支える基本理念	1	理学療法 (I・II)
2	障害と生活のとらえ方	2	理学療法 (I・II)
3	リハビリテーションの分野、リハビリテーション医学の概念	3	装具療法と義肢、リハビリテーション看護
4	リハビリテーション医学とチームアプローチ、リハビリテーションの進め方	4	摂食嚥下障害、ソーシャルワーク、リハビリテーション工学
5	地域ケアと地域リハビリテーション	5	脳卒中のリハビリテーション (I)
6	心身機能・身体構造の評価 (ROM-I)	6	脳卒中のリハビリテーション (II)
7	心身機能・身体構造の評価 (ROM-II)	7	脊髄損傷のリハビリテーション (I)
8	心身機能・身体構造の評価 (MMT)	8	脊髄損傷のリハビリテーション (II)
9	心身機能・身体構造の評価 (ADL)	9	切断のリハビリテーション (I)
10	心身機能・身体構造の評価 (歩行)	10	切断のリハビリテーション (II)
11	参加の評価、合併症 (廃用症候群) の評価	11	小児のリハビリテーション
12	運動麻痺の評価、運動年齢テスト	12	骨関節疾患のリハビリテーション
13	失行失認テスト (高次脳機能評価)	13	関節リウマチ、末梢神経障害、パーキンソン病のリハビリテーション
14	心理的評価、摂食・嚥下障害の評価	14	呼吸器疾患、心疾患のリハビリテーション
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	筆記試験
授業の進め方	講義形式。テーマごとに国家試験問題の演習を行う。
注意 (学生に望むこと)	1・2年次に履修した解剖学、生理学、基礎医学等の知識を確認しながら授業を進める。修得した内容を自分の言葉で説明できるようにすること。
使用テキスト・参考書	東洋療法学校協会編『リハビリテーション医学 (第4版)』医歯薬出版、適宜プリントを配布する

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	関係法規	曜日・時間	木曜日・1時限

【授業概要・目標】

関係法規は、保健医療福祉とあん摩マッサージ指圧、はり及びきゅうの理念を内容とする。保健医療福祉制度の中におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の位置付けや職業倫理について理解を深める。医療法、医師法等の医事法の体系の中での「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」、社会保険法、社会福祉関係法について学ぶ。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	関係法規序論（1） 関係法規とは、関係法規の内容、関係法規と医事法	1	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（1） 法律の沿革、法制定の目的、指定試験（登録）機関の指定
2	関係法規序論（2） 法の概念、法の領域、法の存在形式	2	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（1） 法律の沿革、法制定の目的、指定試験（登録）機関の指定
3	関係法規序論（3） 法秩序の構成原理、法の解釈	3	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（3） 免許、免許の取得と取消、名簿、登録事務、学校・養成施設、試験
4	医療法（1） 医療法の概要、医療法の目的、医療提供の理念、医療関係者の責務	4	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（4） 施術者の業務、守秘義務等
5	医療法（2） 医療提供施設の種類と定義、類似名称の使用制限	5	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（5） 施術所に関する規制、広告の制限、免許取消と業務停止
6	医療法（3） 医療提供施設の要件、法定人員、構造設備の基準等	6	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（6） 罰則、両罰規定
7	医療法（4） 医療提供施設の管理監督等、医業等の広告の制限	7	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（7） 医業類似行為とその規制、医業類似行為に関する判例
8	医療法（5） 医療計画、医療法人、地域医療連携推進法人、医療審議会、地域保健法	8	その他の関係法規（1）－予防衛生法規、薬事関係法規－感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、予防接種法、医薬品医療機器等法、薬剤師法
9	医師法（1） 医師法の概要、資格法、臨床研修	9	その他の関係法規（2）－保健衛生法規－健康増進法、母子保健法、母体保護法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
10	医師法（2） 業務法、医業と医業類似行為	10	その他の関係法規（3）－社会保険関係法規－健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
11	医師法（3） 義務法、罰則、秘密保持義務	11	その他の関係法規（4）－社会福祉関係法規－社会福祉法、生活保護法、

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

			老人福祉法, 児童福祉法
12	他の医療関係者に関する法律(1) 歯科医師法, 保健師助産師看護師法, 診療放射線技師法, 臨床検査技師等法	12	その他の関係法規(5) 障害者基本法, 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
13	他の医療関係者に関する法律(2) 理学療法士及び作業療法士法, 視能訓練士法, 言語聴覚士法, 臨床工学技士法	13	その他の関係法規(6) 身体障害者福祉法, 知的障害者福祉法, 発達障害者支援法
14	他の医療関係者に関する法律(3) 義肢装具士法, 救急救命士法, 歯科衛生士法, 歯科技工士法, 柔道整復師法、医師と他の医療関係者の業務の関係, 名称独占と業務独占	14	個人情報保護法
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期, 後期の筆記試験による評価。前期試験は, 記述問題と選択問題, 後期試験は, 国家試験に準じた選択問題とする。
授業の進め方	講義方式。医療六法の条文を読み理解する。
注意(学生に望むこと)	授業中の私語は厳禁とする。基本的なマナーを守ること。
使用テキスト・参考書	使用テキスト・参考書: 必要に応じて, レジュメを配布する。医療六法平成31年版(必携)前田和彦監修 関係法規 医歯薬出版

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	按摩マッサージ指圧理論	曜日・時間	水曜日・1時限

【授業概要・目標】
 あん摩・マッサージ・指圧における基礎理論の知識の習得。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	あん摩マッサージ指圧の応用分野（医療マッサージ・保険マッサージ）
2	あん摩マッサージ指圧の意義と沿革	2	あん摩マッサージ指圧の応用分野（医療マッサージ・保険マッサージ）
3	あん摩の基本手技とその作用	3	あん摩マッサージ指圧の応用分野（結合織マッサージ・その他）
4	マッサージの基本手技とその作用	4	併用する物理療法（電気療法・光線療法）
5	指圧の基本手技とその作用	5	併用する物理療法（温熱療法）
6	あん摩マッサージ指圧の生体作用の機転の一般、循環系におよぼす作用	6	併用する物理療法（温熱療法）
7	神経系におよぼす作用	7	併用する物理療法（水治療法～寒冷療法）
8	皮膚・筋・関節・消化器・呼吸器・全身におよぼす作用	8	あん摩マッサージ指圧の施術上の注意
9	運動法の生体におよぼす作用	9	あん摩マッサージ指圧の施術上の注意
10	あん摩マッサージ指圧の治療効果	10	前期授業における要点の復習
11	東洋医学の健康観 経絡と経穴	11	前期授業における要点の復習
12	古法あん摩（按摩手引）	12	後期授業における要点の復習
13	古法あん摩（導引口訣鈔）	13	後期授業における要点の復習
14	古法あん摩（導引口訣鈔・按腹図解）	14	総復習
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期・後期試験の点数
授業の進め方	板書、配布資料
注意（学生に望むこと）	板書の記録
使用テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧理論 教科書

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	鍼灸理論	曜日・時間	水曜日・2時限

【授業概要・目標】

国試レベルの基礎応用と対応力を身につける。また、これまでの研究で明らかになっていることを紹介し、「痛み」を通して鍼灸の治効機序を学習していく。鍼灸の治効機序についてメディカルスタッフと議論できることを目標とする。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	概論	1	鍼灸治効の基礎 温度・触圧感覚の受容と伝達
2	概論 鍼灸の定義	2	鍼灸治効の基礎 温度・触圧感覚の受容と伝達
3	鍼の基礎知識 鍼灸の有効性と安全性	3	鍼灸治効の基礎 鍼灸刺激と反射
4	鍼の基礎知識 古代九鍼	4	鍼灸治効の基礎 鍼鎮痛
5	刺鍼の方式と術式、軸索反射	5	鍼灸療法の一般治効理論 自律神経
6	特殊鍼法、神経機構	6	鍼灸療法の一般治効理論 脊髄反射
7	灸の基礎知識・灸術の種類	7	鍼灸療法の一般治効理論 上脊髄反射
8	鍼灸の臨床応用	8	鍼灸療法の一般治効理論 ポリモーダル受容器
9	リスク管理	9	鍼灸療法の一般治効理論 鍼通電
10	関連学説 ストレス学説 他	10	鍼灸療法の一般治効理論 トリガーポイント
11	関連学説 ゲートコントロール説 他	11	鍼灸療法の一般治効理論 各種メディエータ
12	鍼灸治効の基礎 局所の反応	12	鍼灸療法の一般治効理論 生体防御機構
13	鍼灸治効の基礎 治療的作用	13	鍼灸療法の一般治効理論 鎮痛まとめ
14	鍼灸治効の基礎 痛み感覚の受容と伝導	14	痛覚、体性-自律反射のまとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	定期試験、国試演習、出席
授業の進め方	教科書を補足するスライドを用いて解説する。
注意（学生に望むこと）	鍼灸治効機序は、生理学が主体となっているため、生理学の復習を重ねて、基礎を身につけて下さい。
使用テキスト・参考書	東洋療法学校協会編： はりきゅう理論. 医歯薬出版, 2002.、東洋療法学校協会編. 生理学. 第3版, 医歯薬出版, 2014.

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	東洋医学各論Ⅱ	曜日・時間	月曜日・1時限

【授業概要・目標】

施術者として必要な東洋医学の概念、診断法及び治療法等の基本的事項について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	弁証①	1	まとめ⑦
2	弁証②	2	まとめ⑦
3	弁証③	3	まとめ⑨
4	論治①	4	まとめ⑩
5	論治②	5	練習問題Ⅰ
6	治法①	6	練習問題Ⅱ
7	治法②	7	練習問題Ⅲ
8	弁証論治の進め方と証の決定	8	練習問題Ⅳ
9	まとめ①	9	練習問題Ⅴ
10	まとめ②	10	練習問題Ⅵ
11	まとめ③	11	練習問題Ⅶ
12	まとめ④	12	練習問題Ⅷ
13	まとめ⑤	13	練習問題Ⅸ
14	まとめ⑥	14	練習問題Ⅹ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による、その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	1・2年時の学習内容がベースになるので復習しておくこと。
使用テキスト・参考書	東洋医学概論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	東洋医学臨床論 I	曜日・時間	月曜日・2時限

【授業概要・目標】
西洋医学的に授業を進めるので、症状や病態を理解する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	西洋医学的に病証を理解する	1	17.排尿障害 18.インポテンツ
2	総論（授業の進め方）	2	17.排尿障害 18.インポテンツ
3	1.頭痛	3	23.腰下肢痛（2）
4	2.顔面痛 3.顔面麻痺	4	23.腰下肢痛（3）
5	4.歯痛 5.眼精疲労 6.鼻閉・鼻汁	5	24.膝痛（1）
6	7.脱毛症 8.めまい 9.耳鳴りと難聴	6	24.膝痛（2）
7	0.咳嗽 11.喘息	7	25.運動麻痺
8	12.胸痛	8	26.高血圧症 27.低血圧症
9	13.腹痛	9	28.食欲不信 29.肥満 30.発熱
10	14.悪心と嘔吐 15.便秘と下痢	10	31.のぼせと冷え 32.不眠 33.疲労と倦怠
11	16.月経異常	11	34.発疹
12	19.肩こり 20.頸肩腕痛（1）	12	35.スポーツ医学（1）
13	19.肩こり 20.頸肩腕痛（2）	13	35.スポーツ医学（2）
14	21.肩関節痛 22.上肢痛	14	36.老年医学
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	出席・定期試験(2回実施)により評価する。
授業の進め方	配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
注意（学生に望むこと）	配布プリントを予習して、授業中に理解できるように集中して聞いてほしい。また復習が望ましい。
使用テキスト・参考書	テキスト・参考書：指定された教科書を用いる。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	曜日・時間	火曜日・1時限

【授業概要・目標】
各項目の適応・不適応，東洋医学的な考え方を学習する

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	治療総論	1	肩こり，頸肩腕痛
2	頭痛	2	肩こり，頸肩腕痛
3	顔面痛，顔面麻痺，	3	腰下肢痛，膝痛
4	歯痛，眼精疲労，	4	運動麻痺，その他
5	鼻汁・鼻閉，脱毛，	5	高血圧，低血圧
6	めまい，耳鳴りと難聴，	6	食欲不振
7	咳嗽，喘息，	7	肥満
8	胸痛	8	発熱
9	腹痛	9	のぼせと冷え
10	悪心と嘔吐	10	不眠
11	便秘と下痢	11	疲労と倦怠
12	月経異常	12	発疹，小児の症状，
13	排尿障害，インポテンツ	13	老年医学における鍼灸療法
14	復習①	14	まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	小テスト，本試験，出欠(授業態度)など
授業の進め方	履修内容順に講義を進行する。ただし学生の能力に応じて変更有り。
注意（学生に望むこと）	小テストを行う。
使用テキスト・参考書	教科書，配付資料，

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	東洋医学臨床論Ⅲ	曜日・時間	水曜日・4時限

【授業概要・目標】

臨床の現場に入ったときに即戦力となるための、臨床能力を身に付けることを目標とする。東洋医学を判りやすく解釈する事、運動の基礎を理解する事、全体症状の理解深める事で、患者さんの症状を広範囲から思考・判断出来るようになる事。共に、スポーツ外傷・スポーツ障害・身体障害・精神障害に対し、根拠のある治療方法を導き出し、治療を行う。治療後、予後の説明と、日常生活上のアドバイスをすることが出来るようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション（授業内容説明など）	1	Chapter 3 1節 1.2
2	Chapter 2 1節	2	Chapter 3 1節 1.2
3	Chapter 2 2節	3	Chapter 3 1節 5.6
4	Chapter 2 3節	4	Chapter 3 1節 7.8
5	Chapter 2 4節	5	Chapter 3 1節 9.10
6	Chapter 2 5節	6	Chapter 3 1節 11.12
7	Chapter 2 6節	7	Chapter 3 1節 13.14
8	Chapter 2 7節	8	Chapter 4 1節 1.2
9	Chapter 2 8節	9	Chapter 4 1節 3.4
10	Chapter 2 9節	10	Chapter 4 1節 5.6
11	Chapter 2 10節	11	Chapter 4 2節 1.2.3
12	Chapter 2 11節	12	Chapter 4 2節 1.2.3
13	Chapter 2 12・13節	13	Chapter 4 3節 1.2
14	前期試験 準備	14	後期試験 準備
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	スポーツ障害・身体障害を科学的観念を用い、正確な全体症状を診断・治療・接遇が出来るか？
授業の進め方	コーチングテクニックを用いて授業に望み、生徒の自主的な能力向上意欲の惹起に努める。
注意（学生に望むこと）	自分で考え、発想し、決断し、修正できるように！！
使用テキスト・参考書	スポーツ東洋療法

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 AB
科目名	東洋医学応用概論	曜日・時間	火曜日・4時限

【授業概要・目標】
 施術に携わる上での実務知識を学習する。資格取得に必要な知識の習得度合を確認する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	国家試験科目の学力確認(1)
2	基礎医学系の学力の把握	2	国家試験科目の学力確認(1)
3	臨床医学系の学修度の確認	3	国家試験科目の学力確認(3)
4	医療保険の概要／東洋医学基礎の確認①	4	国家試験科目の学力確認(4)
5	医療保険とあはき／東洋医学基礎の確認②	5	国家試験科目の学力確認(5)
6	介護保険の概要／東洋医学基礎の確認③	6	国家試験科目の学力確認(6)
7	介護保険とあはき／東洋医学基礎の確認④	7	国家試験科目の学力確認(7)
8	施術所開業の基礎知識／東洋医学基礎の確認⑤	8	国家試験科目の学力確認(8)
9	財務管理／東洋医学基礎の確認⑥	9	国家試験科目の学力確認(9)
10	リスク管理①モノに関すること／東洋医学基礎の確認⑦	10	国家試験科目の学力確認(10)
11	リスク管理②対人に関すること／東洋医学基礎の確認⑧	11	国家試験科目の学力確認(11)
12	リスク管理③施術に関すること／東洋医学基礎の確認⑨	12	国家試験科目の学力確認(12)
13	リスク管理④民間保険／東洋医学基礎の確認⑩	13	国家試験科目の学力確認(13)
14	予備日(復習)	14	国家試験科目の学力確認(14)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	内容に応じて講義または演習形式にて行う。
注意 (学生に望むこと)	特になし
使用テキスト・参考書	なし(プリントを配布)

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 A
科目名	按摩マッサージ指圧臨床 実技	曜日・時間	水曜日・3時限

【授業概要・目標】

各疾患の病態を把握・分析し、按摩マッサージ指圧手技を用いて、各疾患に対する治療法を学習させる。座学の時間は少なくし、出来るだけ実技の時間に振り向ける

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	治療原則、治療方針 等	1	オリエンテーション・治療総論（治療原則・治療計画）P2～6
2	各疾患の治療法…肩こり、頸肩腕痛	2	オリエンテーション・治療総論（治療原則・治療計画）P2～6
3	各疾患の治療法…肩関節痛、上肢痛	3	各疾患の治療法：（腰下肢痛②）P49～51
4	各疾患の治療法…頭痛	4	各疾患の治療法：（膝痛）P51～53
5	各疾患の治療法…顔面痛、顔面麻痺	5	各疾患の治療法：（運動麻痺）P53～56
6	各疾患の治療法…眼精疲労	6	各疾患の治療法：（高血圧症・低血圧症）P56～58
7	各疾患の治療法…鼻閉、鼻汁	7	各疾患の治療法：（食欲不振）P59～60、（悪心と嘔吐）P32～33
8	各疾患の治療法…めまい、耳鳴りと難聴	8	各疾患の治療法：（便秘と下痢）P33～35
9	各疾患の治療法…咳嗽、喘息、喘鳴	9	各疾患の治療法：（月経異常・排尿障害）P35～37
10	各疾患の治療法…胸痛、腹痛	10	各疾患の治療法：（のぼせと冷え）P62～63
11	各疾患の治療法…スポーツ医学におけるあま指療法①	11	各疾患の治療法：（不眠・疲労と倦怠）P63～65
12	各疾患の治療法…スポーツ医学におけるあま指療法②	12	各疾患の治療法：（小児の症状）P66～67、老年医学におけるあま指療法P86～95
13	実技テスト	13	実技試験①（各疾患に対する施術及び筆記試験）
14	筆記テスト（国家試験より）	14	実技試験②（各疾患に対する施術）
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	施術態度、習熟度。
授業の進め方	一步通行にならないよう、対話形式で行う。
注意（学生に望むこと）	触診して施術など、効果が分かるようにして、興味をわかせたい。
使用テキスト・参考書	テキスト・参考書、東洋医学臨床論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 B
科目名	按摩マッサージ指圧臨床 実技	曜日・時間	水曜日・3時限

【授業概要・目標】

東洋・西洋医学的に各疾患の病態を把握・分析し、按摩マッサージ指圧手技を用いて、各疾患に対する治療法を、実技演習を中心に学習する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション・治療総論（治療原則・治療計画）P2～6	1	治療原則、治療方針 等
2	各疾患の治療法：（腰下肢痛①）P46～48	2	治療原則、治療方針 等
3	各疾患の治療法：（腰下肢痛②）P49～51	3	各疾患の治療法…肩関節痛、上肢痛
4	各疾患の治療法：（膝痛）P51～53	4	各疾患の治療法…頭痛
5	各疾患の治療法：（運動麻痺）P53～56	5	各疾患の治療法…顔面痛、顔面麻痺
6	各疾患の治療法：（高血圧症・低血圧症）P56～58	6	各疾患の治療法…眼精疲労
7	各疾患の治療法：（食欲不振）P59～60、（悪心と嘔吐）P32～33	7	各疾患の治療法…鼻閉、鼻汁
8	各疾患の治療法：（便秘と下痢）P33～35	8	各疾患の治療法…めまい、耳鳴りと難聴
9	各疾患の治療法：（月経異常・排尿障害）P35～37	9	各疾患の治療法…咳嗽、喘息、喘鳴
10	各疾患の治療法：（のぼせと冷え）P62～63	10	各疾患の治療法…胸痛、腹痛
11	各疾患の治療法：（不眠・疲労と倦怠）P63～65	11	各疾患の治療法…スポーツ医学におけるあま指療法①
12	各疾患の治療法：（小児の症状）P66～67、老年医学におけるあま指療法 P86～95	12	各疾患の治療法…スポーツ医学におけるあま指療法②
13	実技試験①（各疾患に対する施術及び筆記試験）	13	実技テスト
14	実技試験②（各疾患に対する施術）	14	筆記テスト（国家試験より）
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	出席・授業態度および試験（実技・筆記試験）の結果により総合的に評価する。
授業の進め方	実技演習を中心に、教科書・配布資料等を使いながら授業を進める。
注意（学生に望むこと）	テキスト中の各疾患の東洋・西洋医学的病態については、授業前に予習をしておくこと。
使用テキスト・参考書	東洋医学臨床論（あん摩マッサージ指圧編）教科書執筆小委員会著、その他プリント等を配布。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科3年 A
科目名	鍼灸臨床実技 I	曜日・時間	金曜日・2時限

【授業概要・目標】

問診・検査法・鍼灸実技・カルテ書き等、臨床に活かせるようにその精度を上げる。
検査法の動き・形ができるだけでなく、その意味をきちんと理解できるようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション・総論 A	1	腰痛-2 A
2	オリエンテーション・総論 B	2	腰痛-2 A
3	頸・上肢痛-1 A	3	坐骨神経痛-1 A
4	頸・上肢痛-1 B	4	坐骨神経痛-1 B
5	頸・上肢痛-2 A	5	坐骨神経痛-2 A
6	頸・上肢痛-2 B	6	坐骨神経痛-2 B
7	五十肩-1 A	7	膝関節痛-1 A
8	五十肩-1 B	8	膝関節痛-1 B
9	五十肩-2 A	9	膝関節痛-2 A
10	五十肩-2 B	10	膝関節痛-2 B
11	腰痛-1 A	11	その他の疾患と検査 A
12	腰痛-1 B	12	その他の疾患と検査 B
13	実技試験 A	13	実技試験 A
14	実技試験 B	14	実技試験 B
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検 A	15	

評価の方法	実技試験・授業への取り組みを総合して評価する。
授業の進め方	検査法の精度を上げると共に、問診やカルテ書きの精度を上げ、主訴部位に対する治療法も確認していく。
注意（学生に望むこと）	臨床で使えるように精度を上げていく。
使用テキスト・参考書	問診・診察ハンドブック、スポーツ東洋療法ハンドブック、スポーツ鍼灸臨床マニュアル

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 B
科目名	鍼灸臨床実技 I	曜日・時間	金曜日・2時限

【授業概要・目標】

臨床の現場に入ったときに即戦力となるための、臨床能力を身に付けることを目標とする。症例を通して患者様との接遇・コミュニケーション・症状などの情報を引き出す会話術と、検査法を通して解剖学的・神経学的異常を発見でき病名を導き出すため思考力・発想力を訓練する。共に、東洋医学として論理的に症を判断し・治療原則を考察し・根拠のある治療方法を導き出し、治療を行う。治療後、予後の説明と、日常生活上のアドバイスをすることが出来るようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション（授業内容説明など）b	1	腰部症例 1 b
2	オリエンテーション（授業内容説明など）a	2	腰部症例 1 b
3	頸部症例 1 b	3	腰部症例 2 b
4	頸部症例 1 a	4	腰部症例 2 a
5	頸部症例 2 b	5	肢症例 1 b
6	頸部症例 3 a	6	肢症例 1 a
7	肩部症例 1 b	7	下肢症例 2 b
8	肩部症例 1 a	8	下肢症例 2 a
9	肩部症例 2 b	9	膝症例 1 b
10	肩部症例 2 a	10	膝症例 1 a
11	試験準備	11	膝症例 2 b
12	実技試験	12	膝症例 2 a
13	実技試験	13	試験準備 b
14	前期試験 a b	14	後期試験 a b
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検 a b	15	

評価の方法	症例の患者役の症状を演じられるか？ 正確な診断・治療・接遇が出来るか？
授業の進め方	コーチングテクニックを用いて授業に望み、生徒の自主的な能力向上意欲の惹起に努める。
注意（学生に望むこと）	自分で考え、発想し、決断し、修正できるように！！
使用テキスト・参考書	症例集より抜粋・編纂した資料

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 A
科目名	鍼灸臨床実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日・2時限

【授業概要・目標】
実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	奇経治療の基本である八総穴に捻鍼による刺鍼	1	臨床的な刺鍼（腰痛）西洋
2	奇経の概要説明（交会穴含む）	2	臨床的な刺鍼（腰痛）西洋
3	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	3	臨床的な刺鍼（頸上肢痛）西洋
4	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	4	臨床的な刺鍼（頸上肢痛）東洋
5	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	5	臨床的な刺鍼（上肢痛）西洋
6	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	6	臨床的な刺鍼（上肢痛）東洋
7	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	7	臨床的な刺鍼（肩こり）西洋
8	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	8	臨床的な刺鍼（肩こり）東洋
9	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	9	臨床的な刺鍼（膝痛）西洋
10	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	10	臨床的な刺鍼（膝痛）東洋
11	総合練習-1	11	臨床的な刺鍼（その他）
12	総合練習-2	12	総合練習-1
13	総合練習-3	13	総合練習-2
14	前期実技試験	14	前期実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技の流れ、（基本と臨床的な応用の状態）、平常点
授業の進め方	互いに取穴、刺鍼。患者役が術者に出題、術者がそれに沿う手技を行う。
注意（学生に望むこと）	特に手指、患部消毒を厳密に行う。相手を本当の患者と思い施術する。
使用テキスト・参考書	

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 B
科目名	鍼灸臨床実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日・2時限

【授業概要・目標】
実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	奇経治療の基本である八総穴に刺鍼	1	臨床的な刺鍼（腰痛）西洋
2	奇経の概要説明（交会穴含む）	2	臨床的な刺鍼（腰痛）西洋
3	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	3	臨床的な刺鍼（頸上肢痛）西洋
4	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	4	臨床的な刺鍼（頸上肢痛）東洋
5	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	5	臨床的な刺鍼（上肢痛）西洋
6	奇経の流注説明。交会穴取穴、刺鍼。	6	臨床的な刺鍼（上肢痛）東洋
7	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	7	臨床的な刺鍼（肩こり）西洋
8	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	8	臨床的な刺鍼（肩こり）東洋
9	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	9	臨床的な刺鍼（膝痛）西洋
10	各奇経の病証説明、主治穴刺鍼	10	臨床的な刺鍼（膝痛）東洋
11	総合練習－1	11	臨床的な刺鍼（その他）
12	総合練習－2	12	総合練習－1
13	総合練習－3	13	総合練習－2
14	前期実技試験	14	前期実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技の流れ、（基本と臨床的な応用の状態）、平常点
授業の進め方	互いに取穴、刺鍼。患者役が術者に出題、術者がそれに沿う手技を行う
注意（学生に望むこと）	特に手指、患部消毒を厳密に行う。相手を本当の患者と思い施術する
使用テキスト・参考書	経絡経穴概論、東洋医学概論、鍼灸基礎実技、はりきゅう理論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 A
科目名	鍼灸臨床実技Ⅲ	曜日・時間	金曜日・1時限

【授業概要・目標】

臨床の現場に入ったときに即戦力となるための、臨床能力を身に付けることを目標とする。東洋医学を判りやすく解釈する事、運動の基礎を理解する事、全体症状の理解深める事で、患者さんの症状を広範囲から思考・判断出来るようになる事。共に、東洋医学として論理的に症を判断し・治療原則を考察し・根拠のある治療方法を導き出し、治療を行う。治療後、予後の説明と、日常生活上のアドバイスをすることが出来るようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション（授業内容説明など） a	1	排尿障害 1 b
2	オリエンテーション（授業内容説明など） b	2	排尿障害 1 b
3	めまい について 1 b	3	排尿障害 2 b
4	めまい について 1 a	4	排尿障害 2 a
5	めまい について 2 b	5	排尿障害 3 b
6	めまい について 2 a	6	排尿障害 3 a
7	疲労 について 1 b	7	実技試験準備 b
8	疲労 について 1 a	8	実技試験準備 a
9	疲労 について 2 b	9	実技試験準備 b
10	疲労 について 2 a	10	開業治療室 臨床について a
11	試験準備 b	11	開業治療室 臨床について b
12	実技試験 a	12	試験準備 a
13	実技試験 b	13	試験準備 b
14	前期試験 a b	14	後期試験 a b
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検 a b	15	

評価の方法	東洋医学と科学的観念を用い、正確な全体症状を診断・治療・接遇が出来るか？
授業の進め方	コーチングテクニックを用いて授業に望み、生徒の自主的な能力向上意欲の惹起に努める。
注意（学生に望むこと）	自分で考え、発想し、決断し、修正できるように！！
使用テキスト・参考書	素問・運動の神経科学・聞く技術（上）（下）

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 3年 B
科目名	鍼灸臨床実技Ⅲ	曜日・時間	金曜日・1時限

【授業概要・目標】
 患者の誘導から、実技（特殊鍼法も含めて）まで幅広く、学習・訓練してもらいます。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	患者への対応とベットサイドの対応を訓練する	1	実技の訓練
2	実技のオリエンテーション	2	実技の訓練
3	実技の訓練	3	実技の訓練
4	実技の訓練	4	実技の訓練と背診
5	実技の訓練と腹診	5	実技の訓練
6	実技の訓練	6	実技の訓練
7	実技の訓練	7	実技の訓練
8	実技の訓練と理学検査	8	澤田流
9	実技の訓練	9	平田氏十二反応帯
10	実技の訓練	10	運動鍼
11	実技の訓練	11	実技の訓練
12	実技の訓練	12	実技の訓練
13	実技の訓練	13	実技の訓練
14	実技の訓練	14	実技の訓練
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	出席・定期試験により評価する。
授業の進め方	11月に行われる認定試験の実技訓練を主に行う。
注意（学生に望むこと）	実技、特に灸について行う。
使用テキスト・参考書	なし

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸指圧科 3年
科目名	臨床実習	曜日・時間	月・木・金・3・4時限

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備（補助）ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	身だしなみ・参加意欲・実習生同士の協調性・患者接遇などを総合的に評価する。
授業の進め方	指導教員の施術見学、施術所の環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし